

まちづくり交付金 事後評価シート
美濃加茂市川合・本郷地区

平成21年3月

岐阜県美濃加茂市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	美濃加茂市		地区名	美濃加茂市川合・本郷地区			面積	46ha			
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	711百万円	国費率	0.399					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路事業:市道整備(神明森山線アクセス線、巾下諏訪線、古井小北横断線、薬師下横断線、川合262号線、本郷594号線他1路線、川合260号線他3路線) 地域生活基盤施設:耐震性貯水槽、消火栓											
		提案事業	区画整理助成金事業:古井小北地区、薬師下地区											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路事業:本郷254号線	削除/追加の理由		道路整備による通過交通量の増加に対して、安全な居住環境が損なわれるとの理由により整備の同意が得られなかったほか、他路線の整備により、安全な歩行空間確保の目標は達成できたため。								
		提案事業	—	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		目標・数値指標への影響なし。								
	新たに追加した事業	基幹事業	公園事業:薬師下諏訪公園	削除/追加の理由		地域コミュニティの充実及び住民相互の連携・交流を促進するため。								
		提案事業	事業活用調査:事業効果分析事業	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		都市再生整備計画の事後評価に活用するため新たに追加。								
交付期間の変更	当初	—	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—									
	変更	—	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期			
	指標1	狭隘道路率	%	72.8	H15	35.3	H20	—	33.7	○	あり なし	— —	道路事業が予定通り完了し、想定していた4m以上道路が整備されたことが要因である。	平成21年4月末
	指標2	空閑地率	%	37.1	H15	24.7	H20	—	23.0	○	あり なし	— —	土地区画整理事業や民間開発による宅地整備が実施されたことが達成された要因であると考えられる。	平成21年4月末
	指標3	定住人口	人	905	H15	925	H20	—	995	○	あり なし	— —	土地区画整理事業や民間開発による宅地整備により、地区内の居宅建築が進んだことが達成された要因であると考えられる。	平成21年4月末
	指標4										あり なし			
指標5										あり なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期			
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
その他の数値指標3														
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業をはじめ、地区の道路が整備されたことにより、住宅地の通過交通が減少し、児童をはじめとする歩行者の安全性が向上したと思われる。 新築住宅の増加に伴い、「水洗化軒数」が増加した。 													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	土地区画整理組合の設置(古井小北・薬師下諏訪)による住民主導の組合運営を実施した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 整備された住宅地において、新たな定住者の増加に伴い地区の住民を中心としたコミュニティの形成を図っていく。						
	持続的なまちづくり体制の構築	自主的な防災組織として、新規・既存居住者と協働した、防災訓練等の防災活動を行うとともに、外国人居住者への防災教育として、前述の防災訓練などへ外国人にも出席を願い、地元住民と一体となった防災意識の向上を行った。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 宅地整備により予想される新たな居住者に対しても、地域の防災意識の向上を目指し、防災活動への参加を促進する。						

様式2-2 地区の概要

川合・本郷地区(岐阜県美濃加茂市) まちづくり交付金の成果概要

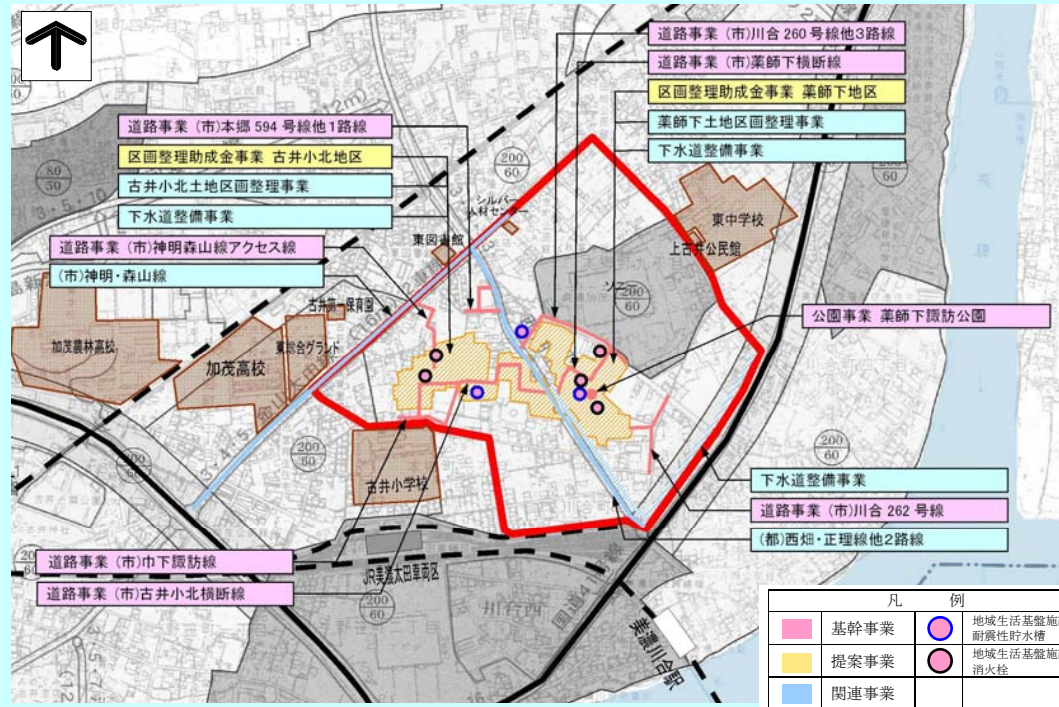
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
幼稚園児から高齢者までが安心して学び・暮らせる住環境の創出	狭隘道路率	単位: %	72.8 H15	35.3 H20	33.7 H20
	空閑地率	単位: %	37.1 H15	24.7 H20	23.0 H20
	定住人口	単位: 人	905 H15	925 H20	995 H20
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



■ 区画整理後の街並み



■ 整備された耐震性防火貯水槽



■ 区画整理後の街並み



■ 公園に併設して整備された耐震性貯水槽

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の中心となる土地区画整理事業が円滑に進んだことに加え、地区内の2箇所において民間開発による宅地整備が実施されたことにより、地区の低・未利用地の宅地化が図られたほか、未接道土地の減少がなされた。 ・以前より懸念事項であった浸水被害について、道路整備や貯水槽などの排水施設が整備されたことにより浸水地区が改善された。 ・道路整備により地区の内外を通過する道路が整備されたことや地区内の通過交通が減少したことにより、地区内の交通安全性が向上した。 ・地区内道路網の整備により国道41号や国道248号などへのアクセス性が向上し、地区外への時間短縮が図られた。 ・各種整備により宅地化が進んだものの、十分なビルドアップが行われていないため、今後も定住人口の促進を図る。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる狭隘道路率の減少を目指し、必要に応じて地区内道路の整備を検討する。 ・地区周辺に、小学校、中学校、高校などがあることから、整備された道路を含めた新たな通学路の検討や防犯施設の設置を検討するなど安心・安全な歩行空間の創出を目指す。 ・自治会を中心とした防災訓練等の防災活動や道路や公園などの美化活動を促進するとともに、「ふれあいいきいきサロン」や上古井公民館での地域活動(ブラジルの会、手作り愛好会など)の充実など、地域住民が「身近にふれあえる場」の創出を図り、既存の居住者と新たな居住者のコミュニティの形成を促進する。 ・安心・安全な居住環境の創出を目指し、地区住民による防災や防犯体制の構築を推進する。 ・公園などの整備された施設については、施設の清掃や美化活動などの住民との協働による維持管理を促進する。